

英語俳句とは・・・

日本語で俳句を創るときには「季語を入れること」「5-7-5」といったルールがありますが、英語俳句は英語の現在形で自由に創る三行詩です。

頭ではなく、心と身体で感じる“今、ここ”を一枚の絵を描くようにして、身近な単語を並べていきます。雑然とした文章で述べるのではなく、名詞で鮮明な印象を伝えます。

まず一番伝えたいものを一つ決め、それに別のものを一つ添えます。二つの間の緊張感から生まれる詩が英語俳句です。一息で読めてしまう短さなので、共感できる題材を入れて読者を引き込みましょう。

毎日の生活の中で誰でもが気付く、季節の花や食べ物、服装や気候などの変化を取り込んでみましょう。

英語俳句を創るためのポイント

- 1) 動物や虫、植物を擬人化して物語を創るのではなく、その動物や虫が存在する季節の中に自分もまた生きているという一体感を味わいます。
- 2) 俳句はみんなの詩形です。身の回りにある美しいもの、面白いもの、びっくりすることなど、全てが俳句の種となります。“あっ、わかるこれ！”の共感を楽しんで下さい。
- 3) 小文字で始めて、終わりに終止符を打たないスタイルが主流です。
(※固有名詞は大文字となります)
- 4) 行の終わりにダッシュ (—) やエリプシス (...) を置くことで意味の切れ目を創ることが出来ます。

例) wrinkled faces
 in the hospice window —
 bursting buds
 「ホスピスの窓に しわの寄った顔々— ほころぶ荅 (つぼみ)」

- 5) 形容詞、副詞は省き、動詞も省けるものは省きます。俳句では名詞が主役です。動名詞を上手に使って動きを「～すること」と名詞形で表すことも出来ます。

上記のようなルールを考えながら創作しますが、まずは感じたこと、思ったことを自由に表現してみましょう。

指導者へのアドバイス（実際の創作の前に）

1) 数多くの秀句を詠むことで、その短さ、言い切らないで見せる手法を学びます。また英語俳句のリズムを味わうために音読をお勧めします。

2) 一つの単語（例えば snow）に連想される「降る」「白い」「冷たい」といった情報を箇条書きにし、動詞や形容詞を入れて情報が重複しないようにしましょう。

例) 「snow」:→①降る (come down) / ②白い (white) / ③冷たい (cold) は入れない

3) 英語俳句は脚韻を踏みませんが、鋭い s の音、力強い d の音、柔らかい m の音など、同じ子音を繰り返すことで、一句にある印象を与えることができます。同じ子音で始まる単語のリストを作ってみましょう。また、同じ季節の単語リストを作ることも句材を見つけるのに役立ちます。

例) [summer] ice cream, swim, sun flower, goldfish, mosquito, evening glow, etc...

4) 作者が何を見てどう感じたかという結果報告の俳句は“あっ、そう。”で終わりです。読者の体験や想像力を呼び覚まし、あるいは、当たり前なことでも今まで気づかなかったことを見せてくれる句が面白い句です。また俳句では普通、時間の経過ではなく瞬間を捉えます。

5) よい句の他にも問題句を挙げ、生徒たちと一緒に考えてみることも有効でしょう。

例) a cold rainy night in November
under a street lamp

I saw the dancing snowflakes in its light

「11月のある冷たい雨の夜 街灯の下で 私はその光の中に舞う雪片を見た」

【解説】

まず、長すぎます。

11月 is 寒いので cold は省けます。street lamp とあるので night も in its light も省けます。雪片もひらひらと舞うように降るので dancing は不要です。

俳句は作者の五感を通して体験したことを表す詩形ですので、I saw と断る必要はありません。また動詞が過去形だといつあった事なのかははっきりしません。臨場感は現在形から生まれます。以下は、元スウェーデン俳句協会会長カイ・ファルクマンさんの作品です。

例) November rain

under the street lamp

snowflakes

「11月の雨 街灯の下に 雪片」

11月の雨が雪に変わる瞬間を捉えた句です。本格的な冬の到来を実感します。読者も同じ様に寒さの中で街灯の灯を見上げている感覚になりませんか？この句はもともとスウェーデン語で創られて英訳されました。英語は俳句の世界共通語でもあります。

※注1
脚韻・・・詩歌で、文末・行末に同音の語を置くこと。西洋の詩では近接する行末に同一音ないし類似音をそろえる。

英語俳句作品 (例)

高校生用

first snow
sticks to the window
of the ferris wheel

(直訳)
初雪が
くっつく
大観覧車の窓に

from a small window
small small world
my first flight

(直訳)
小さな窓から
小さな小さな世界
初めての空の旅

the blue sky
becomes near
on horseback

(直訳)
馬に乗ると
青空が
近くなる

The last day of year,
a house becomes warmer
than usual

(直訳)
大晦日
家はいつもより
温かい

After eight lessons
beyond the classroom window
a full moon rises

(直訳)
8時限のあと
教室の窓のかなたに
のぼる満月

winter night
only a lighthouse
on my way home

(直訳)
冬の夜
家路に
ただ一つ灯台が

library fly
at rest on
hamlet's soliloquy

(直訳)
図書館のハエ
ハムレットの独白の所に
安らかにとまる

I get up early
to leave my footprints
in the snow

(直訳)
雪の上に
足跡を印そうと
早起きする

the quiet room
many books
and a little loneliness

(直訳)
この静かな部屋
たくさんの本と
淋しさ少し